

## 会議記録（１）

会議名称	令和２年度北本市行政改革推進委員会（第１日目）
開会及び閉会日時	令和２年１１月１８日（水） 午後１時３０分から午後３時２０分まで
開催場所	北本市役所 委員会室１
議長氏名	委員長：下垣彰
出席委員(者)氏名	秋葉清、金綱幾代、諏訪千加子、田尻健
欠席委員(者)氏名	白津吉英、和田博
説明者の職氏名	子育て支援課長：南豊 同課子育て支援担当GL：牧早苗
事務局職員職氏名	行政経営課長：佐藤慎也 同課事務管理担当GL：矢ノ川直登 同課事務管理担当主査：長谷川知亮
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>１ 開会</li> <li>２ 委員長挨拶</li> <li>３ 委員紹介</li> <li>４ 議事             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和元年度北本市行政改革推進委員会答申への対応状況の報告</li> <li>(2) 事務事業の見直しについて                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 0歳児おむつ無料化事業</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>５ その他</li> <li>６ 閉会</li> </ol>
配付資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>１ 次第</li> <li>２ 委員名簿</li> <li>３ 北本市行政改革推進委員会規則</li> <li>４ 行政改革推進委員会答申への対応状況</li> <li>５ 事務事業の見直し等について（答申）（令和元年９月３０日）</li> <li>６ 北本市の財政状況について</li> <li>７ 0歳児おむつ無料化事業の見直しと子育て応援事業について（福祉部子育て支援課 提出資料）</li> <li>８ チェックシート（0歳児おむつ無料化事業）</li> </ol>

発言者	発言内容・決定事項
事務局	<p><b>1 開会</b></p> <p>北本市行政改革推進委員会を開会いたします。</p> <p>はじめに、会議の成立につきまして確認をいたします。</p> <p>「北本市行政改革推進委員会規則」第5条第2項に「委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない」と規定されておりますが、本日は、委員数7人のところ出席委員数5人、欠席委員数2人となっておりますので、過半数の出席をもって会議が成立することを報告いたします。</p>
事務局	<p><b>2 委員長挨拶</b></p> <p>それでは、開会に当たりまして、下垣委員長から御挨拶を頂きます。</p> <p style="text-align: center;">—委員長 挨拶—</p>
事務局	<p><b>3 委員紹介</b></p> <p>ありがとうございました。続きまして、本年度最初の委員会となりますので、委員の皆様の紹介をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">—事務局 委員紹介—</p>
事務局	<p>続きまして、事務局職員を紹介いたします。</p> <p style="text-align: center;">—事務局 事務局職員紹介—</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、「北本市行政改革推進委員会規則」第5条第1項に「委員会は、委員長が招集し、会議の議長となる」と規定されておりますので、この後の議事の進行につきましては、下垣委員長にお願いをいたします。</p> <p>なお、本日は傍聴希望者が1人いらっしゃいます。</p> <p>北本市の附属機関の会議は「北本市情報公開条例」第21条の規定により原則公開となりますが、「北本市附属機関等の会議の公開に関する規則」第2条に「附属機関等の会議の公開又は非公開の決定は、附属機関等の長が当該会議に諮って行うものとする」と規定されておりますので、議事に移る</p>

発言者	発言内容・決定事項
委員長	<p>前に、会議の公開につきましてお諮りします。</p> <p>仮に会議中に個人情報や法人の秘密事項等の非公開情報が出てくる場合には会議を非公開とすることも可能ですが、本日の委員会におきましては、現在のところそのようなおそれはないと思われますので、原則どおり公開ということで、委員長及び委員の皆様はいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">—一同 了承—</p> <p>それでは、本委員会の公開の決定がなされましたので、傍聴人は入室してください。</p> <p style="text-align: center;">—傍聴人 入室—</p>
委員長	<p><b>4 議事</b></p> <p>(1) 令和元年度北本市行政改革推進委員会答申への対応状況の報告</p> <p>それでは、議事(1) 「令和元年度北本市行政改革推進委員会答申への対応状況の報告」について、事務局から説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">—事務局 配布資料4・5に基づき説明—</p>
委員長	<p>以上の説明について、質問はありますか。</p>
委員	<p>昨年度の答申では、私たちの意見を的確にまとめてくれたと思います。今後の方向性がしっかりと示されているので、各事業の所管課も対応がしやすかったのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>このほか、市の財政状況について、事務局から説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">—事務局 配布資料6に基づき説明—</p>
委員長	<p>ただいま事務局から、市の財政状況について説明がありました。</p>

発言者	発言内容・決定事項
	<p>今のままでは人口が減る、それに伴って市の歳入が減る、というのは統計的に当たり前のことかと思えます。対処策としては、「外からの人口（収入）を呼び込む取組」又は「現在の人口で収入を増やす取組」、そのどちらかを行うしかない。これもまた自明のことです。</p> <p>企業では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響でリモートワークの導入が進んでいます。どこも苦勞して対応を進めていますが、リモートワークの導入によって出張等を最小限にしてより多く働けるようになったという面もあり、経営の効率化という観点では、決して悪いことばかりではないように思います。仮にこの流れが続けば、都心で働くよりも「郊外でリモートワークをして、たまに都心の会社に行く」といった人もこれまで以上に増えていくのではないのでしょうか。その場合、都心から1時間程度で緑も多い北本市の立地の魅力は、更に向上するように思います。</p> <p>人口増加の余地があるという視点に立つと、市内に散見される空き家は非常にもったいないと感じます。北本市に興味を抱いていただいた人にお試しで住んでいただくような取組も、今後積極的に進めていくべきではないでしょうか。</p> <p>このように、人口減少を止めるだけでなく、人口の増加を図る取組はないのか。本委員会では、そうした前向きな視点についても、市に対し提示していきたいと思えます。</p>
委員長	<p>(2) 事務事業の見直しについて</p> <p>それでは、(2) 「事務事業の見直し」について、説明を求めます。事務局は、所管課を呼んでください。</p> <p style="text-align: center;">—子育て支援課 入室—</p>
委員長	<p>「0歳児おむつ無料化事業」について、改めて概要、目的、効果等の説明をお願いします。また、昨年度の答申を踏まえ所管課として同事業にどのように取り組んでいるのかについても、説明してください。</p> <p style="text-align: center;">—子育て支援課 配布資料7に基づき説明—</p>
委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明について、意見</p>

発言者	発言内容・決定事項
委員	<p>又は質問はありますか。</p> <p>「0歳児おむつ無料化事業」の廃止案と新規事業「子育て応援事業」について近所の若い母親たちに個人的に意見聴取してきましたので、その内容を踏まえて質問及び要望をお話したいと思います。</p> <p>制度変更の狭間に出生した子供たちについては、たとえ少しばかり得をする子供が出たとしても損をする子供は出ないようにしてほしい、という意見がありました。世帯間に不公平が生じないような工夫は、何かありますか。</p> <p>新規事業「子育て応援事業」で配布が検討される「こども商品券」は、ひとり親世帯でも同額なのではないでしょうか。</p> <p>「こども商品券」の配布を健診時に設定することで健診受診率の向上を図るということでしたが、出生時に市から配布された大量の別資料に埋もれてしまうため健診情報は忘れがちになってしまう、受診日時を事前にはがきやメール等で個別に連絡してもらえるとよいのではないかと、といった話もありました。</p>
子育て支援課	<p>令和3年3月31日までに出生した子供については、1年間をかけて約4万5千円相当の「おむつ券」が配布されます。一方で、令和3年4月1日以降に出生した子供については、3年間をかけて約4万円相当の「こども商品券」が配布される案となっています。この金額の違いをもって「減った」との指摘を受けるかもしれませんが、新制度では用途が広がるため、利便性は向上するものと考えています。</p> <p>新規事業「子育て応援事業」は子供1人につき約4万円相当の「こども商品券」を配布する制度であり、たとえひとり親世帯であっても、子供の人数が変わらない限りは同額の商品券の配布となります。</p> <p>健診受診率向上のための個別連絡については、本委員会で委員から意見があったことを、健診を所管する健康づくり課に申し伝えます。</p>
委員	<p>現行制度を廃止し用途を広げた新しい商品券を導入するという提案がありましたが、まだ検討の余地があるのではないのでしょうか。育児において、おむつは必ず必要となります。</p>

発言者	発言内容・決定事項
子育て支援課	<p>おむつ以外で必要となるものの代表は例えば衣類やおもちゃだと思いますが、そのような物品については、親戚に小さな子がいる家庭や多子世帯では使い回し、それでも結局は余ってしまうのが現実です。衣類やおもちゃは、商品券で新たに買うよりも、市の子育て支援センター等の無料交換の場の活用を促す方が、市としては賢明なのではないでしょうか。</p> <p>ほかに「子育て世帯の経済的負担軽減に資する事業」として挙げられた「乳児用品貸出事業【86万円】」とは、具体的に何ですか。</p> <p>令和元年度からベビーベッド及びベビーバスの貸出を行っています。出生数全体に対しての利用率が低いのではないかと指摘もございますので、利用率向上のための検討が今後必要だと認識しています。</p>
委員	<p>ベビーベッドは半年程度の使用が見込めるでしょうが、ベビーバスは1～2か月間程度しか使用しない用品だと思います。</p> <p>長期間使用する育児用品で特に市の支援が必要と考えられるのは、チャイルドシートだと思います。1歳6か月頃まで、あるいは2歳6か月頃まで等、発育段階に応じて必要なチャイルドシートは異なります。そのような、ある程度長期間使用する必要はあるけれども買い替えざるを得ない用品を市が貸し出してくれるということになれば、子育て支援策としては非常に有効なのではないでしょうか。</p>
委員	<p>所管課である子育て支援課が昨年度の答申に基づいて対応を始めてくれて、うれしく思います。</p> <p>所管課の説明やほかの委員の意見等を聞いて、たとえ制度が変わったとしても出生時の2万円相当分だけは用途をおむつに限定してよいのではないかと、という印象を受けました。発育段階に応じて商品券の用途をおむつ以外にも広げるとしても、出生時の用途はおむつに限定して市内の店舗を利用してもらうのがよいと思います。所管課からは「こども商品券」を新規導入すれば北本市内でも加盟店が増えるだろうという見込みが示されましたが、個人的には、北本市内の加盟店の急増は望めないのではないかと思います。</p>

発言者	発言内容・決定事項
委員長	<p>用途を広げた商品券を導入するという方向性はある程度理解しますが、なぜ「こども商品券」なのでしょう。近隣に加盟店は少なく、そもそも北本市内で使えないということでした。ほかの商品券ではいけないのでしょうか。</p>
子育て支援課	<p>確かに多種多様な商品券がほかにも存在しますが、所管課としては、あくまでも子供のものを買ってほしいという思いがあり、今回、「こども商品券」を提案しました。ほかの単なる商品券では子供のものに使ってもらえないのではないかという懸念があります。</p> <p>現状では北本市内の加盟店が存在しないではないかというのは、御指摘のとおりです。「こども商品券」導入の際には、市内の店舗に新規加盟の働きかけを行っていきたくと考えています。</p>
委員長	<p>話としてはある程度わかりましたが、行政の支援を子育て世帯に確実に届けることの方が重要であって、「おむつ券」の配布を止めて今回あえて用途にしぼりのある商品券を新規に導入する必要性は感じません。</p>
委員	<p>地元経済を回すという観点では、用途が広がることはよいことだと思います。ベビーフード等の購入ニーズは存在すると思います。</p> <p>「こども商品券」は子供のものに使われるという説明でしたが、金券ショップ等で換金されてしまう可能性を考えると、あえて「こども商品券」の導入を選択する意味はないのではないかと思います。個人的に調べたところ、換金率93%という金券ショップがありました。「こども商品券」は確かに育児用品向けの商品券ではありますが、必ずしもそういった使い方はされないのではないかと、疑問が残ります。</p> <p>「おむつ券」は埼玉県内の他自治体では飯能市が導入しているようですが、北本市が「おむつ券」を導入したことで北本市に住もうという人の増加に繋がっているのか、その点を確認したいと思います。</p>
子育て支援	<p>北本市の出生率は、桶川市や鴻巣市と同様に低下傾向にあ</p>

発言者	発言内容・決定事項
課	ります。
委員	<p>北本市の出生率低下については、分娩取扱施設が北里大学メディカルセンターしかないというのが大きな要因でしょう。数か月後に北本市内で生まれる子供の数は、妊娠3か月目か6か月目か、分娩予約が可能な時期に決まってしまうわけです。生む場所が北本市内にないのが問題だということは、私の家族も声高に言っています。</p>
委員長	<p>分娩が可能な施設を市内に増やすことに力を入れるべきだという意見には賛成です。以前から、「おむつ券」だけで出生率が上がるというわけではないという話をしています。</p> <p>いろいろな意見が出てきました。ここでチェックシート（配布資料8）に意見やコメントを記入してみましよう。事前に用意した模造紙にシートを貼り付け、委員会の意見をまとめていきたいと思えます。</p> <p>所管課の皆さんは、ここで退室となります。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">—子育て支援課 退室— —各委員 チェックシート記入—</p>
委員長	<p>「0歳児おむつ無料化事業」にせよ新規の「子育て応援事業」にせよ、子育て世帯からのニーズは確かにあるでしょうが、必ずしも有効な対策にはなっていないのではないかと、というのが私の認識です。</p>
委員	<p>健診受診率の向上を図るという観点はいいと思えます。虐待対策や親の安心にも繋がるでしょう。子供の歩き始めが遅く焦っていた親が健診受診時に「1歳6か月頃までに歩ければよい」のだと助言を受けて冷静な気持ちを取り戻した、といった話を聞いたこともあります。</p>
委員	<p>「おむつ券」なら否応なしにおむつを買うことになります。商品券だと、金券ショップでの換金等、先ほど話に出たような使われ方になってしまいかねないように思えます。ただ、商品券でもらうとより現金に近い感覚になり、もらう方</p>



発言者	発言内容・決定事項
委員長	<p>からすれば、それはそれでうれしいかもしれません。</p> <p>「0歳児おむつ無料化事業」がそもそも子育て世帯への経済的支援策として位置づけられているのであれば、あえておむつの支給にこだわる必要はないでしょう。</p> <p>健診と組み合わせて健診率の向上に繋げようという考え方はよいと思います。</p> <p>まず「0歳児おむつ無料化事業」の拡大・廃止・維持、そして代替案の「子育て応援事業」を了と考えるかNGと考えるか、これら計5つの視点で検討をしていきたいと思います。</p>
委員	<p>本当は、金銭的な支援だけでなく、子育てに対する直接的な手助けとなるような施策に力を入れる方がよいのだろうとは思いますが。</p>
委員長	<p>委員の皆さんが記入済のチェックシートを基に、委員会としての意見をまとめていきます。</p> <p>①おむつ単体の引き換えは廃止 ②「こども商品券」を導入し経済的支援をするのはOK ③「こども商品券」を導入するなら地元で使えるようにすべき ④健診と組み合わせるのはよいことだ といった意見が出ました。</p> <p>また、事業を対外的にアピールすることが重要であって、「生む～育てる」の各段階でネックとなっている点を解消する施策を講じることで子供を育てる人や子供を産む人を増加させるべき、といった今後市が目指すべき方向性が示されたように思います。</p> <p>ライフサイクルを踏まえて施策を実施することが非常に重要です。市が行っている「子育て世帯の経済的負担軽減に資する事業」は子育て支援課の資料に掲載された事業一覧を見て把握できましたが、項目を単に列記しただけでは体系的な確認ができません。</p>
委員	<p>北本市は子育て支援のためのよい施策を積極的に行っていると思いますが、広く知られてはいないように思います。現在子育てをしている親には若い方々が多いのだから、対象となる施策をスマートフォンで個別に通知すること等にも取り</p>

発言者	発言内容・決定事項
委員長	<p>組んでみたらどうでしょうか。</p> <p>子育ての各プロセスで生じるニーズと、それに対応した施策を明確にする必要があります。</p> <p>例えば、金銭的負担が大きい時期には商品券等で経済的な支援を行い、金銭的負担は減少するものの身体的には非常に疲れるという時期には市からヘルパー等を派遣する。このように、ニーズが具体的にはっきりしないと、有効な対策はできません。子育てをする人たちのニーズや声を確認した上で支援策を検討するため、「子育て支援施策マップ in 北本」のようなわかりやすい資料を作成する必要があるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>今回提示された意見を基に、委員会の意見をまとめていきます。</p> <p>また、委員長が示されたような、発育段階に応じた子育て支援策を体系的にまとめた資料の作成を、子育て支援課に依頼します。</p> <p>5 その他</p> <p style="text-align: center;">—特になし—</p> <p>6 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。

令和 2 年 12 月 18 日 委員長 下垣 章